

神奈川県立博物館

研究報告

自然科学6号

神奈川県立博物館

昭和48年8月

神奈川県立博物館研究報告（自然科学）は、これまで1巻1号より1巻5号まで発行しましたが、本号より巻を廃し通巻6号とします。

No. 1	(Vol. 1	No. 1)	1968
No. 2	(Vol. 1	No. 2)	1969
No. 3	(Vol. 1	No. 3)	1969
No. 4	(Vol. 1	No. 4)	1971
No. 5	(Vol. 1	No. 5)	1972
No. 6			1973

目 次

今 永 勇 ; 神繩逆断層にそう小断層について…………… 1
 松 島 義 章 ; 横浜市内の沖積層の貝化石群集 (予報) …………… 7
 小 林 峯 生 ; 山形県下の毛翅目について…………… 21
 村 岡 健 作 ; オキナガレガニの幼生の観察及び成体の出現期について…………… 45
 中 村 一 恵 ; 内陸に迷行した海鳥 2 種について…………… 55
 大 場 達 之 ; 日本の亜高山広葉草本-低木群落 …………… 61
 高 橋 秀 男 ; 日本産高山植物ノート (2) …………… 95

CONTENTS

Imanaga, I.; On the Minor Faults observed along the Kannawa Reverse Fault. …………… 1
 Matsushima, Y.; Preliminary Report on the Molluscan Assemblages from the Alluvial
 Deposits in Yokohama City …………… 7
 Kobayashi, M.; Caddisfly Fauna of the Vicinity of Yamagata Prefecture, with
 Descriptions of Thirteen New Species…………… 21
 Muraoka, K.; On the Characters of the Larva and the Seasonal Change of
 Occurrence of the *Sargassum* Crab, *Planes cyaneus* DANA …………… 45
 Nakamura, K.; On Four Examples of *Pterodroma hypoleuca* and *Phaethon rubicauda*
 Strayed Inland by a Typhoon…………… 55
 Ohba, T.; Über die Stauden Gebüsche auf subalpinen Stufen Japans …………… 61
 Takahashi, H.; Notes on Japanese Alpine Plants (2)…………… 95

図 2. 河内川、谷川、及神繩川に於ける
 (図 2) 地質は、地質の調査から、その河内に神
 繩逆断層があり、その河内には、礫石層が
 あり、北側には、礫石層の上部に礫石層が
 あり、河内川では、神繩逆断層の南
 側に、地質・礫石が 30°~60°E、70°~80°W を示す
 礫石・砂石層があり、北側には、礫石層の
 北山角礫層が分布し、さらに神繩川から谷川に
 は、礫石層の上部に礫石層があらわれ、45°~
 55°W、60°~80°E の定向・礫石を示す。谷川
 では、神繩逆断層の南側に礫石と礫石との互層が
 あり、北側の地質・礫石は、40°E、50°
 ~60°W である。上図に於て、石野の山角礫層の



図 2. 河内川、谷川、及神繩川に於ける